

## 市税等の納付窓口 開設のお知らせ

仕事等により金融機関や市役所窓口で納税等ができない方を対象に、下記の日程で、税務課の窓口を開設しますのでご利用ください。

記

**3月28日(木) 17:00~19:00**

※事前に連絡をくださった方には、19時以降も対応いたします。

### 【納付の可能な市税等】

市県民税・固定資産税・国民健康保険税・  
軽自動車税・介護保険料・後期高齢者医療保険料  
※来庁の際は、別館入口（金融機関のATM設置側）をご利用ください。

※納税以外の相談や申告については対象外です。

●問い合わせ 税務課 収納対策班  
☎0972-82-9512(直通)

## 特別図書整理に伴う 臨時休館のお知らせ

市民図書館では、すべての資料の点検整理作業等のため、下記の期間を休館させていただきます。

ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

### ○休館期間

2月26日(月)～3月5日(火)まで

※休館中の返却は、玄関横の「ブックポスト」をご利用ください。

※津久見市電子図書館は、休館中もご利用いただけます。

津久見市電子図書館



●問い合わせ  
津久見市民図書館 ☎0972-85-0080

## 「文化財保存活用地域計画」総合調査から⑦

### 一 春の伝統行事「南部四国八十八ヶ所とオセツタイ」一

○問い合わせ

津久見市教育委員会 生涯学習課 地域計画担当  
TEL 0972-82-9528 / FAX 0972-85-0081

江戸時代から続く信仰、祈りの歴史のひとつに、四国八十八ヶ所の巡礼があります。

市内では、堅浦の海岸寺境内にある八十八ヶ所霊場が古く、今から240年余り前の天明4年の春に開眼供養が行われたと言います。その他、一か所に八十八ヶ所霊場、札所が設けられた地域としては、保戸島・落ノ浦・高浜があります。いずれも山腹の急峻な崖地に八十八ヶ所を模した石仏を祀っています。本四国霊場の巡拝に参れない人々たちにより造られ篤く信仰されてきました。

一方、市内各所に残る八十八ヶ所の札所は、明治末期(明治43年頃?)に宮山に設けられていたものを、大正14年(1925)1月、参拝者が少なくなったことや場所柄危ないという理由から、当時の津久見町・青江村・下浦村(現在の徳浦・堅浦・長目区)の一町二村に分跡配置されたもので、番外と奥ノ院を合わせると108ヶ所が知られ、それぞれの札所には「南部四国第〇〇番 本尊〇〇〇〇」と記されています。現在実施している所在調査では、この番号を頼りに確認をしています。

ところで、四国八十八ヶ所の巡礼と言え「オセツタイ」です。八十八ヶ所を巡るお遍路さんに地域の人が茶

菓を振る舞うもので、四国遍路の特有の習俗とされています。

大分県下各地でも、弘法大師の命日にあたる旧暦3月21日と8月21日に地区のお堂や個人宅などで大師像を祀り、参詣した人たちに茶菓を振る舞う風習が今なお伝わっており、津久見では主に3月21日を目安に行われてきました。オセツタイという行為を通じて巡礼という宗教行事に参加し、功德をいただくというものです。

ここ数年、市内ではコロナ禍でオセツタイを見合わせてきた地域も多かったようですが、それ以前は、オセツタイが行われる地域では当日、早朝から親子連れや子どもたちが連れ立ってお参りし、袋菓子などをもらって大喜び、地域に笑い声が聞こえるなど、地域と子供たちの絆を結ぶ大切な行事として続けられてきました。

津久見の春の伝統行事、是非守り継いでいってほしいものです。



南部四国第34番札所